

夏季ダボス会議における李克強発言（１）

田中 修

はじめに

9月11日、李克強総理は大連において夏季ダボス会議開幕式の挨拶を行った。本稿では、彼の発言の概要を紹介する（中国政府網 2013年9月11日）。

2008年9月から今に至るまで、国際金融危機が爆発してすでにまるまる5年となる。現在、世界形成情勢はなお錯綜し複雑である。先進国は好転の兆しが現れたばかりであり、新興経済国は再びかなり大きな下振れリスクに直面しており、一難去ってまた一難と言ってよい。

多重の要因の影響を受けて、中国経済の成長速度もある程度鈍化した。一時期以来、国際的に中国経済について少なからぬ議論があり、一部の国家がかつて遭遇した、成長の早過ぎる鈍化という問題が出現するかどうか、さらには「ハードランディング」が出現するかどうか心配されている。

私は皆さんに、中国は正に転換・グレードアップの要となる段階にあり、現在経済発展のファンダメンタルズは良好であり、経済運営は総体として平穏である¹、と申し上げたい。

今年1-3月期、中国経済の成長率は昨年10-12月期の7.9%から7.7%に下落し、4-6月期はさらに7.5%に下降した。消費・投資及び対外貿易の伸びに下降傾向が現れ、中央財政収入は長年めったになかったマイナス成長が現れた。

下振れ圧力に対して、我々は安定の中で前進を求める政策の総基調を堅持し、一連の革新的な政策措置を採用した。安定成長・構造調整・改革促進を統一的に企画し、経済の平穏な運営を保証した。

（１）現在と長期を併せ考慮し、マクロ経済政策を安定させている

経済が下振れた際、短期的な刺激政策を用いて経済成長を推し上げることは、1つの方法といえる。しかし、我々は利害のバランスを量り、これは深層の問題の解決の助けにはならないと考え、現在にもさらには長期にも利する戦略を選択することにより、マクロ経済政策の安定を維持した。

①財政政策

赤字を拡大しないことを堅持し、むしろ支出構造を調整して、行政支出を圧縮し、支出の進度を加速した。中西部地域、構造調整、民生保障への支援を増やし、小型・零細企業に税制優遇を実行した。

¹ ゴチックは筆者。

②金融政策

一定の程度を維持し、短期金融市場に短期的な波動が出現しても、我々は沈着に対応し、困難を恐れず、金融を緩めることも引き締めることもせず、流動性をしっかり管理し、ストックを十分活用しフローをうまく用いることを通じて、実体経済の発展を支援した。

③リスク管理

我々は監督管理の強化と規範的な発展を通じて、財政・金融分野の潜在リスクを積極的に防止・解消する。皆さんが関心を寄せている**地方政府の債務問題**に対して、我々は的確な措置を採用し、順序立てて規範化・解消しているところである。自信をもって言えるが、**総体としてコントロール可能**である。

(2) 改革開放を断固として推進し、市場の活力を奮い立たせることに力を入れている

①改革

改革・イノベーションは、国家発展の尽きることのない動力である。

今期政府の最初の大仕事は、**政府機能の転換を核心**とし、行政管理体制改革を大いに推進することである。今年に入り、すでに 200 余りの行政審査・許認可事項を取消・委譲したが、その目的は**政府の簡素化・権限の開放**を通じて、開放すべき権限を十分開放し、管理すべき事柄は十分しっかり管理し、各種企業のために公平な競争環境を作り上げ、**市場主体の創造活力を奮い立たせる**ことにある。

我々は「営業税を増徴税に改める」テストの範囲を拡大し、金利市場化プロセス、鉄道等の投融資体制、資源制産品の価格、政府による公共サービス購入等の分野の改革を積極的に推進する。

我々は経済構造改革推進を加速し、**混合所有制経済を発展**させ、金融・石油・電力・鉄道・電信・資源開発・公共事業・サービス業等の分野で市場参入を緩和し、民間投資の伸びを誘導し、各種所有制企業のために更に大きな発展の余地を提供する。

②開放

中国の現代化建設は改革に依拠しなければならないが、開放とも切り離せない。

我々は対外開放の新たな道を不断に模索し、上半期は欧州のスイス・アイスランドと FTA を締結した。最近はさらにアセアン指導者と中国-アセアン FTA のグレードアップ版を作り上げるべく協議している。

上海に建設する自由貿易試験区は、ネガティブチェックの管理モデルを模索するものであり、重点は投資の参入とサービス貿易分野の開放拡大である。我々は対外貿易の簡便化等の措置をさらに打ち出して、輸出の平穏な伸びを促進する。

(3) 転換・グレードアップに着眼し、構造を調整・最適化している

中国経済はすでに**転換・グレードアップ**しなければ持続的な発展ができない要となる段階に達した。

内需拡大は最大の構造調整であり、都市・農村と地域の協調発展促進を主要任務とし、工業化・新しいタイプの都市化・情報化・農業の現代化を同歩調で推進することを基本ルートとし、サービス業の発展を重要な戦略的支柱とするものである。

我々は新たな消費のホットスポットを積極的に育成し、「ブロードバンド中国」戦略実施を推進する。我々は脆弱部分の建設を強化し、省エネ・環境保護、バラック地区の改造、都市インフラ、中西部鉄道等の方面の投資を増やし、広域にわたり集中する特別困窮地区への支援を強化する。

我々は専門的な措置を打ち出し、養老・健康・文化・スポーツ等のサービス業の発展を促進する。イノベーション駆動による発展戦略の実施を加速し、技術イノベーションを大いに推進し、科学技術と経済の深い融合を促進し、イノベーション・起業に資する社会環境を作り上げる。

今年に入り、中国は安定成長・構造調整・改革促進を協調的に推進してきたが、これは主としてマクロ管理方式のイノベーションに資するものであった。

我々は経済発展の潜在力と現状に基づき、経済運営の合理的区間を科学的に確定し、成長安定・雇用維持の「下限」を固守し、インフレ防止の「下限」をしっかりと把握した。これは予想を調節する事前警戒ラインでもある。

同時に、経済運営の合理的区間に適合したマクロ政策の枠組みを制定した。経済運営が合理的区間にありさえすれば、経済の総量政策は基本的に安定を維持する。主線は経済発展方式の転換とし、注力点は経済構造の調整とし、カギとなる措置は依然として改革・イノベーションとする。内需の潜在力・イノベーションの動力・改革のボーナスを不断に発揮させ、市場の活力を奮い立たせ、成長の内生的パワーを形成し、中国経済のグレードアップ版を作り上げることに力を入れるのである。

これらの措置により、中国経済の運営には安定化・好転の勢いが現れている。7・8月分の状況からすると、製造業 PMI、PPI、工業付加価値、輸出入、電力使用量、貨物輸送量等の主要指標はあまねく反転上昇している。実体経済は活気づき、都市就業は引き続き拡大し、物価総水準は安定を維持している。市場のコンフィデンスは増強され、社会の予想は好転している。

このような安定の中で前進をみる発展態勢により、**今年の経済社会発展の予期目標は必ず実現できる**と我々は確信している。同時に、現在の経済の反転上昇の基礎はなお堅固ではなく、不確定要因がなお多いことをも見て取らねばならない。我々は油断することなく、さらに困難を克服し試練に対応できるようしっかりと準備しておかなければならない。

中国経済は30年余り続けて高成長し、世界発展史上の奇跡を創造した。**現在、中国経済はすでに中高速成長の段階に入っている**。7.5%前後の成長率は、過去の2桁近い成長と比

べればやや遅いが、世界的に見れば依然として主要経済国では高速度である。

中国経済の総量は過去と比べ明らかに増大しており、現在すでに発展転換の段階に入っている。潜在成長率がある程度低下し、経済成長が高速から中高速に転換するのは、発展法則に符合するものである。

しかも、将来中国経済の成長は、質と効率の向上を前提とし、資源節約と生態環境保護を支えとし、科学技術イノベーションと技術進歩を動力としなければならず、雇用の保障と個人所得の相応の増加を伴う成長でなければならない。つまり、改革・発展の成果・恵みが最も広範な人民大衆に及ぶようにしなければならない。

未来を展望すると、中国の発展の前途は明るい。**我々は、経済の長期に持続的で健全な発展を維持する能力・条件を完全に備えている。**中国の工業化・都市化ははるか未完成であり、地域発展の挽回余地と市場の潜在力は巨大である。改革の大勢は逆転できず、改革推進は必ず新たな制度活力を放出する。中国人民が勤勉で知恵があり、休むことなく自らを鍛えていることは、最も重要な発展の支えである。

我々は引き続き経済を発展させ、民生を不断に改善し、社会の公正を促進し、断固として改革開放の道を歩み、中国の特色ある社会主義事業を不断に前へ推し進める。我々が長期目標を緩めないと決心し、眼前の問題解決を怠らないようにしさえすれば、中国という経済の巨船は必ず風波を乗り切り、帆を挙げて遠洋に漕ぎ出すことができる。中国経済は必ず長期に持続的で健全な発展を維持できる。

(9月12日記)